

講師: 設楽さん

ゲスト講師: 椎葉くに子さん

参加者: 福島さん、長瀬さん、井上さん、常富さん、陶山さん、山川さん、永江さん、馬場さん
波多野さん、徳永さん、野口さん、深見さん、梅木さん、麻生さん、湯山さん、武田さん

(記録) 前田

事務局: 松下さん、山口さん、赤星さん

AM6:30~10:30

椎葉くに子さんによる野草説明そぞろ歩き と 朝食

・とにかく博識で、種類が多かったので圧不可能でした。

・印象に残っているのは 《まずは、テンプラ。早く食べたい時→テンプラ。》

《節句の時:ハビ仔ゴを1個食べる。》

AM10:45~

講義: バーマカルチャーの原則2

多様性 ~ねばならないを取り去る

A) (百一姓的)

=自由な発想

→固定概念を取り払う 例) 金が無いと生きていけない

→知識+ 体験(自分にとって何が大切か)

→探索生活 自然を知る

生産: 金の代わりにするものを作る

設楽さんより、PCに取り組む人が増えてはきたが、上記 をしているか危惧している

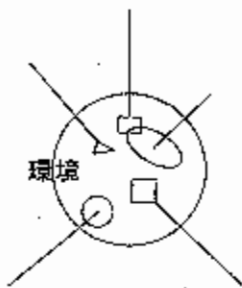
B)

1つの環境の中に多様な関係性が必要=多様な環境: たくさんのイヅ(接続)を作る
他との関係性によって、個性の中から出てくるものが決まってくる

→内なる多様性を引き出してあげる事が大事

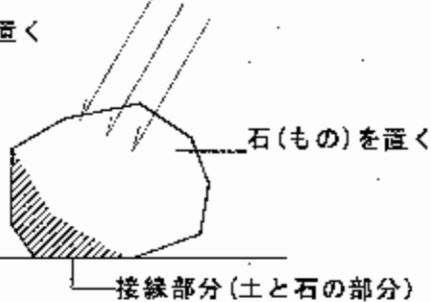
※多くのイヅを作ってあげる。

環境



光

①平面に石を置く



②池をつくる



【環境の多様性】→関係性を作ってあげる。
(たくさんいるだけでは、ダメ)

日本の社会では、個別化、均一化 一単一化
~会社でも、多様性を引き出すためにエッジをたくさん作るべき。

私達の中の多様性を引き出すためには? ~一人一人の個性を引き出す環境を用意する

関係性のあり方として、相互補完性をつけてあげる

・社会の中でバランスをとる
~個人の目的と会社の目的を一致させればOK

近代資本主義は、大量生産→大量消費→利益

(松下さん)

これに乗っからない関係性を作るべき	: 代替案を考える
どこまで互恵的に関係性を作れるか	: 自分の好みで ^{小さな} 関係性を作って、周りに伝播させられるように

これをばんでいるのは? 現状を維持したい人々: 権力者たち

関係性によって、物が生み出される

↳ ポジティブにする: 声がけする。あいさつする。 Cf, 都会の人のT.P.O ” あいさつはしない”

近代は、関係性を断ち切る事で成立って来た。

農産物(自然が与えた余剰物)は、隣りへもお裾分けする~あいさつ; 対話のきっかけのツール

例) 関西の鈴ちゃん

Cf, 買ったものを貰うと負担になる

合理性

～何をもって合理的というか？

結果を得るのに最短ルート(無駄がない)

一番無駄だと考えられるもの：時間～特に人間にかかるコスト

コスト～いかにお金を少なくするか

現代社会～コストが少ないのが合理的

～どんどん合理性が高まる事によって
幸せになっているか？

自然の摂理

PC～自然の持っている理に合わせよう。

例)春夏秋冬～温帯では、なぜあるか？

地球の自転軸がズレているので 潮、風により、温度、湿度等の環境が変化する

1)一番の基本は、**命**～命を傷つけていないか、ダメージを与えていないかどうか
自然は、命の集合体

2)人間の幸福～全ての人間が幸福に生きられること

人口問題について

-地球の生産性は無限大～掘り起こしできないのは、人間の知恵が足りない(ビル・モリス)

-ニューバ：医療費が200万都市の中で賄っている～自分達の食べ物を生産すれば
飢えない

-新しい生命のエネルギーが社会を変えていく～高齢化したら、固定化されていく

○子供が安心して育てられる社会

○マネーゲームに対する代替案：資本主義～実態経済は、10%。残りの90%は、投機マネー

働きながらの、自己実現が大切

お金の為に、やりたくない事をやっているのはつらい事

ランドスケープ

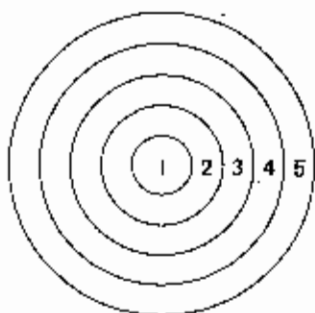
～ある土地の中で、具体的に
自然と人間がバランス良く

ゾーニング

～エネルギーの無駄使いを少なくする
土地(地面)と人間とのゾーニング(区分け)

・できるだけ小さなシステムを作る(食べ物etc)

ゾーニングはコンパクトに～小規模集約的に



1)人間、家～**職住一致**：エネルギー消費が少ない

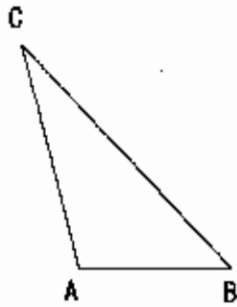
2つ3つある。コンパクトにまとめる。

2)人と自然が共同する生産：人のウェイト大きい(野菜)

3)人と自然が共同する生産；自然のウェイト大きい(果樹)

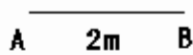
4)自然の恵みを受けるゾーン(山菜、木材、里山)

5)自然のままのゾーン：八百万の神(いらすの山、水を生み出す)

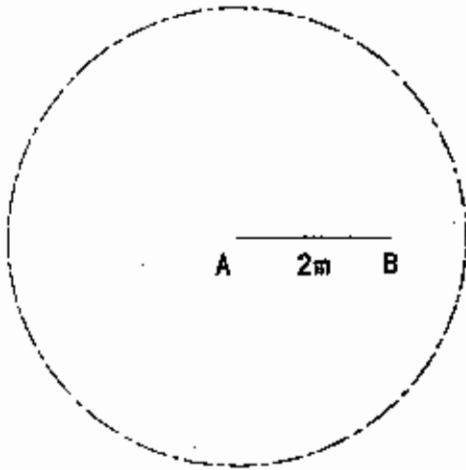


三角形ABCがあり、
まず、ABの距離を測りました。→2mでした。
次に、AからCの距離を測りました。→3mでした。
同様に、BからCの距離を測りました。→4mでした。

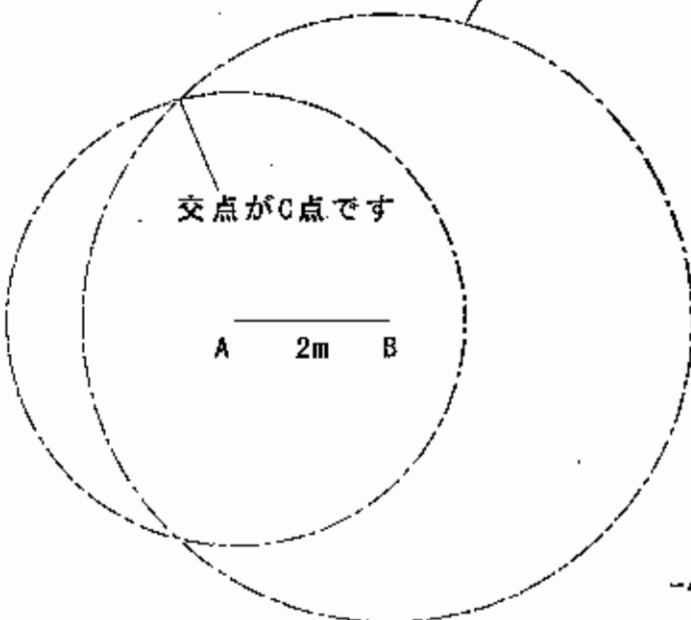
【描き方】



ABの線を引きます。→2m分



次に、A点を中心とする半径3mの円を描きます。



次に、B点を中心とする半径4mの円を描きます。

